
世界が終わる日

ガイコツ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界が終わる日

【Nコード】

N3713D

【作者名】

ガイコツ

【あらすじ】

2010年1月1日元旦世界が終わる日

(前書き)

下手くそですか読んでくれたら幸いです

僕、岸田未来16歳は親の援助やバイトで独り暮らしをしている。
2009年12月31日僕はドアをノックする音で目が覚めた
コンコン．．．．コンコン．．．。

時計を見るとまだ午前2時30分だ．．．。
何だ？こんな夜中に？明日は元旦なんだぞ？
けど睡魔には勝てない。

このままドアを叩く者を無視して寝てしまおう．．．。
僕は目を閉じた

ドンドンドンドンドン

うわぁ！！僕は激しいノックでして目が覚めた。おそろおそろ玄関
に向かう．．。『あどちら様ですか？？』

ドアごしに問いかける．．．。『曉美よ．．．曉美。早く開け
て』ええ？？曉美か？？

とっさにドアを開ける！！
そこには幼なじみの左藤曉美がいた．．．。

髪はロングで体型はスラッとして顔たちはとても整っていてとて
も可愛らしい子だ．．．。

『どうしたの？？こんな時間に？？』と何気なく聞いてみる．．。

『良いから早く部屋にいらてよ未来。』

『うん、まあ入れよ．．。』

と曉美を部屋の中に招きいれるそうして曉美はソファに座りなが
ら俺が差し出した熱いコーヒをすすりながら

『明日世界が終わるらしいよ??』と真顔で暁美が言った

僕は可笑しくて笑った。

なぜなら世界が終わるはずない．．．。しかも明日とかもうすぐじやん??絶対ありえないしね。

『何で笑ってるの??昨日テレビのニュースでやってたじゃん??2010年1月1日に．．つまり明日よ．．新しい年を迎えた元旦にね。地球に巨大な隕石が落ちてきて。』

『俺んちテレビないからニュースなんて分かんないよ．．．。そんなニュースが本当に放送したの??』

5分ぐらい沈黙に浸っただろうか．．．．．。暁美が口を開いた。
『うん．．．．。本当だよ．．．．。わたしはもつと生きたいよ??死にたくない．．．．。まだやりたい事いっぱいあるし．．．。わたしだって明日世界が終わるなんて信じらんないよお??』

『そつかあ．．．．．。なかなかショッキングな出来事だよなあ．．．．．。明日世界が終わるなんてな??全然考えがつかないよなあ??ああく明日何しようかなあ??』

なんか嘘みたいな話を僕は信じた．．．．．。

そして僕と暁美は、色々な事を語りあかした。

懐かしい出来事や思い出など．．．．．。

僕らそのうち深い眠りについた．．．．．。

そして1月1日元旦

世界が終わる日

僕は暁美の声で目が覚めた

『早く起きて!! 未来!!』

『ん?? なんだよ??』

『良いから窓の外みてよ??』

僕は急かされるように起きて窓の外をみた

見慣れた街の景色

なぜか違和感がある。

人の気配がまったくくない。

なぜか異様に暗い

僕は、時間をみた

午後の1時35分だった

え?なんでこんな時間なのに暗いんだ??僕は疑問に思っていると

暁美が口を開いた。

『だって空が悲しい色をしている 隕石なんて嘘だったん

だよ それよりももっと美しく怖い もうお . . .

わ だ よ』

そう言うと暁美は、安らかに眠っていった 暁美が死ん

だのは、なんとなく分かっていった

そして僕も 空を見た後 深い眠りに陥った

. いわいる死んだ事になる。

神様はなんて僕らを楽に死なせてくれたのだろうか???

今まで地球を支配して地球に酷い事してきたのに

ミンナイママデアリガトウ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3713d/>

世界が終わる日

2010年12月23日02時30分発行